

# 神奈川歯科大学 同窓会会報



140号 2024年7月



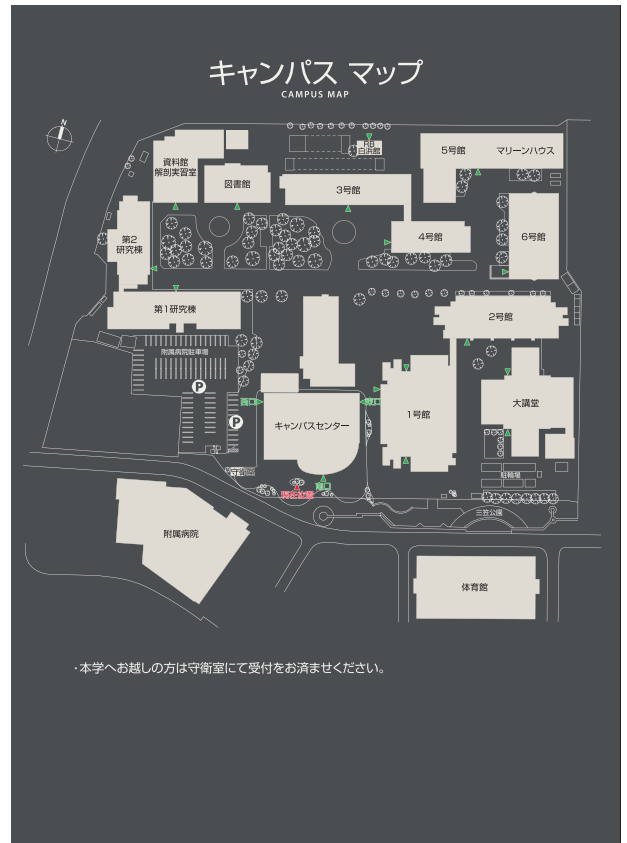
Kanagawa Dental University Alumni Association

<https://inaoka82.com/>





〔キャンパスセンターから附属病院を望む〕



巻頭言	会長 大館 満	2
神奈川歯科大学の歴史を探る	槻木 恵一	3
神奈川歯科大学キャンパスセンター 永続的な成長を目指す拠点に	山田 良広	5
聞きたい授業!	学長 櫻井 孝	6
神奈川歯科大学同窓会 新役員名簿		8
同窓会新役員就任のご挨拶		9
第98回代議員会報告		15
令和5年度定時総会報告		17
令和4年度一般会計歳入・歳出決算 収支計算書		19
令和6年度一般会計歳入・歳出予算		20
会務報告(令和6年1月から6月まで)		21
令和5年度第1回表彰選考委員会報告		22
令和5年度第1回奨学者審議部会報告		23
学術講演会報告 松田謙一先生講演会報告記	前畑 香	24
木本克彦先生講演会報告記	大橋 桂	25
同窓便り 山形県支部		26
群馬県支部		27
大阪府支部		28
広島県支部		29
熊本県支部		30
大分県支部		31
クラス会報告 15回生クラス会	羽田 久美夫	32
卒業生のページ バスケットボール部OB会・総会	玉山 廣忠	33
お知らせ		34

- 表紙題字：大館 満 会長
- 表紙写真：山田良広（財務担当常務理事）
- P.26～P.31の「同窓便り」に公益社団法人 日本歯科医師会 広報課より許可をいただき、日本歯科医師会 PR キャラクター「よ坊さん」のイラストを使用しています。



## 神奈川歯科大学同窓会 会長 大館 満

皆様には日ごろより同窓会活動に対しご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

長年、コロナ禍で同窓会活動も多くの制約を受けました。しかし、2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから代議員の皆様の了承を得て、2024年6月24日、4年ぶりの代議員会を開催いたしました。決算、予算の承認はもとより、選挙はありませんでしたが会長、監事も再任され何とか平常の日々が戻ってきました。これも会員の皆様のご協力とご支援の賜物と心より感謝いたしております。

2月24日、第98回代議員会にて会長に選任いただき心より感謝いたしております。同窓会の組織率の低下、会員数の減少に伴い、小さな同窓会への改編も進めなければなりません。コロナ禍で4年ほど止まっておりましたが、この件は皆様と協議し意見をお聞きしながら進めていきたいと思っております。若い世代へ、どのような同窓会を残していくか大きな課題であります。経費の掛からない誰もが気楽に入会できる同窓会に改編して引き渡したいと思っております。過去の習慣や決まりを見直し、良いところは残し、少しの我慢をお願いして改革を進めていきたいと思っております。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

さて、今年1月1日、年の初めに能登半島地震があり驚愕のスタートとなりました。その後も大小の地震が頻繁に発生しておりますが幸い、同窓の人的被害はなく自宅や診療室、駐車場などに若干の被害が出ましたが支援金にまで至らず見舞金の対応で進めております。

先日はほとんど雨の降らない中東で一年分の雨が一度に降り大きな被災を受けたニュースがありました。今年も豪雨や山火事、地震による自然災害もますます多く発生すると予想されています。温暖化防止のため同窓会もSDGsへの働きかけを強めて参りたいと思

ます。

同窓会では新型コロナウイルス感染症蔓延により同窓会創立50周年を延期させていただきました。来年の開催を検討しておりますが、まだ理事会等で正式な承認を得ておりませんので承認が得られ次第、報告させていただきます。判断が遅れている理由は今年度、11月16日に予定している全国歯科大学同窓、校友懇話会の当番校として開催を進めていることです。現在、この懇話会の運営に全力を注いでまいります。しばらく会員の皆様にはご猶予を賜れば幸いです。

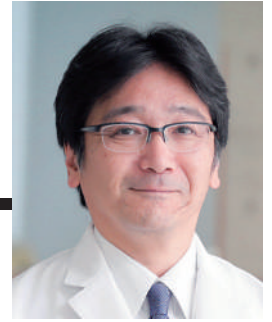
学校法人神奈川歯科大学においては昨年末に本館が竣工し、本年1月には旧本館からの引っ越しも終わり、並行してキャンパス大改造を行っております。先日の第98回代議員会も既に、新しい本館（キャンパスセンター）にて開催いたしました。

また、夏以降、例年と同様新規の学生募集が始まります。歯科に対する魅力の低下とともに少子化の影響で受験生が減少しております。同窓会として優秀な学生を集め、母校を応援していきたいと考えております。数年前より卒業生の「子女枠」を改め、卒業生の推薦で子女でない受験生も認める「卒業生推薦枠」となり、入学金も免除され気楽に推薦できる制度となっております。皆様の近隣のお知り合いの子女でも可能ですのでご紹介のほどよろしく願いいたします。

会員の皆様には今後ともご高配とご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

※巻末のパフレット参照

# 神奈川歯科大学の歴史を探る



神奈川歯科大学 副学長・図書館長 梶木恵一 (24 回生)

神奈川歯科大学では、1 年次に歯科医学史の講義が 6 コマあり、著者は科目を担当させて頂いている。この歯科医学史のうち 1 コマは、「神奈川歯科大学の歴史と建学の精神」という内容で行っている。本寄稿では、図書館長の立場も踏まえ、改めて神奈川歯科大学の歴史を紹介したい。

神奈川歯科大学の歴史を考える時、その始まりを神奈川歯科大学の開学年からと考えるか、大久保潜龍先生の創設した東京女子歯科医学講習所とするかなどの説がある。現在の日本歯科大学理事長で、歯科医学史には極めて造詣の深い中原 泉先生は、日本歯科大学の学内誌の寄稿に、神奈川歯科大学の創設者は、その功績に鑑みて木本鎮雄先生と明言している。木本鎮雄先生は、日本歯科大学の事務局長を務められ、中原 泉先生は幼少時お年玉を貰ったというエピソードも披露している。木本鎮雄先生は、現在の小児歯科学分野教授の木本茂成先生の祖父に当たられ、学校法人神奈川歯科大学の理事長を務められた人物である。木本鎮雄先生が、神奈川歯科大学の開学に大きな貢献をしたことは間違いのない事実であり、その点では中原 泉先生の意見は間違いではない。

一方で、本学には、日本女子歯科医学専門学校の卒業生を祖母とする子息、子女が職員として在籍しており、彼らは自らを神奈川歯科大学の三代目と表現している。日本女子歯科医学専門学校は、大久保潜龍先生の創設された学校の系譜にあり、彼らは大久保潜龍先生を起点として歴史を考えているから三代目と表現している。その日本女子歯科医学専門学校が戦後廃校となり、その卒業生たちの夢は、歯科大学の再興であった。その夢の実現が神奈川歯科大学であり、息子や娘を二代目として送り、そして孫の世代に時代が進んでいるのである。私は、この三代目が神奈川歯科大学への母校愛が非常に強いことを知っている。その点からも、本学の起点は、やはり大久保潜龍先生にあると考えたい。

なお、本学の 100 周年記念誌には、大久保潜龍先生の設立した東京女子歯科医学講習所開設の翌年に設立した東京女子歯科大学を神奈川歯科大学の設立年と

すると記載されているが、著者は、建学の精神の由来（後述）を考慮し、東京女子歯科医学講習所の方が適しているのではと考えている。

現在の本学の建学の精神は、「愛の精神」であることをご存知でしょうか。恐らく、ご存じない同窓生の方が多し筈である。不思議なことに文部科学省への神奈川歯科大学設置の趣意書に「建学の精神」の記載が無く、また建学の精神についての設立当初の資料を見つけることができていない。本来であれば建学の精神とは、学校の学是であり、根幹である。実は本学では、建学の精神が学生だけでなく教職員にも気にされた形跡のない時代が長く続く。また、日本女子歯科医学専門学校のクローバーの校章も神奈川歯科大学は受け継いでいない。この歴史的背景に対しては、著者はかなり過激な説を考えているのでこの場では記述を控える。

現在の大学は、学校教育法で 7 年毎に認証機関の審査を受けなければならないが、この制度が平成 16 年より始まり、その時に建学の精神を問う設問が設定されてから俄かに建学の精神に注目が集まった。本学も平成 22 年に受審した認証評価のために建学の精神を記載することになり、「愛の精神」が学是として学内に認識されるきっかけとなるのである。しかし、この「愛の精神」は誰が、いつ設定したかなど実は不明点が多い。もし、詳しい事情を知っている同窓生の方がいたらぜひ教えて欲しい。

「愛の精神」の起源は、どこにあるのだろうか。長い歴史の中で考えると、やはり大久保潜龍先生による日本女子歯科医学講習所の設立に理由を求めることはできないだろうか。大久保潜龍先生による日本女子歯科医学講習所の設立は、共立歯科大学が日本歯科大学専門学校（現在の日本歯科大学）に昇格する時に当時在籍していた女子学生が排除され、行き場を失うという事件が起こったことに起因する。この排除に対して、欧米で歯科医学を学び女子教育の必要性を感じ、特に女子には歯科医師の職業は向いていると大久保潜龍先生は考えてきたことから、自宅を開放し救済の手を差し伸べるのである。それが東京女子歯科医学講習所である。これこそ大久保潜龍先生の弱者に向けられ

た愛の精神とは言えないだろうか。この説は短期大学の教授を務められた13回生の山田直樹先生が唱えたもので、この説に著者は強く共感し賛同している。また、山田先生の造詣の深さに敬意を表したい。

もう一つ興味深いエピソードがある。それは、東京女子歯科医学専門学校の校長として学校を切り盛りしていた大久保潜龍先生が、在学生から退任するようストライキを起こされ、最終的に辞任するという危機的イベントである。大久保潜龍先生は、女子教育に尽くしてきたわけだが、女子学生に排斥されたのである。この時、大久保潜龍先生の後任の校長は、横須賀海軍病院の院長をしていた平野 勇である。神奈川歯科大学の裏の米軍基地内に現在も存在し、金網越しに見ることができる病院の院長である。さらに、共立歯科医学校から女子学生を排除した校長は、戦艦三笠の軍医原田朴哉である。神奈川歯科大学は、旧横須賀海軍病院と戦艦三笠に挟まれた場所にあるわけで、神奈川歯科大学の所在が横須賀市稲岡町に何故あるのか、極めて不思議な縁を感じる（図1）。

さらに、本学は東京に多くのクリニックや学校を開設するに至ったが、その一つである日本橋三越内の健脳クリニックは、日本女子歯科医学講習所の所在した猿楽町とは約2km以内にある。大久保潜龍先生の作られた学校は、様々な危機に見舞われ神田猿楽町から都落ちしていくが、現在その源流に戻ってきたと言える。

神奈川歯科大学の100年史は、日本女子歯科医学講習所の設立後から多くの危機に見舞われる歴史がある一方で、その数々の危機を乗り越えてもきた。そしてさらに進展していることを歴史的考察から推測も含め紹介した。今後、少子化により多くの大学が危機を迎えることになるが本学も例外ではない。

しかし、神奈川歯科大学は危機に強い歴史がある。これは同窓の思いに支えられてきたからこそ乗り越えられたのである。同窓の思いは悠久であり、同窓の思いを受け学生と教職員が一丸となり大学の充実と永続性に貢献していく所存であり、本学の発展に引き続きご支援を頂きたく衷心よりお願い申し上げたい。



松風ブロック PEEK 大白歯 保険適用  
 ■ CAD/CAM 冠用材料 (V)



強く、しなやかに  
 新しい CAD/CAM 冠



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

● 本社: 〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11 www.shofu.co.jp

お客様サポート窓口(075)778-5482 受付時間8:30~12:00 12:45~17:00(土日祝除く)

歯科切削加工用レジン材料

管理医療機器

医療機器認証番号 303AGBZX00083A01

# 神奈川歯科大学キャンパスセンター 永続的な成長を目指す拠点に



神奈川歯科大学 常務理事 山田良広 (18回生)

2020年から計画着手した新本部棟（キャンパスセンター）が、およそ1年半の建設期間を経て、2023年12月に完成しました。設計した一級建築士の八木敦之氏によると、三笠公園との一体化のために、最高高さ制限15mの規制を横須賀市と協議し「キャンパスの地域開放」を謳うことで緩和し、三笠公園から見通しのきくポールフェンスや植栽帯、幅12mの正門などを実現しました。建物のカラーコンクリートは色名「ドーンピンク」、ドーンとはdawn＝夜明けを意味します。また、4階建ての事務棟と2階建ての学修棟をルーフ（大屋根）で繋ぎ、建物内は職務や勉強に集中する場、外のルーフ下の広々とした空間はコミュニケーションや息抜きの場をイメージしたとのことです。

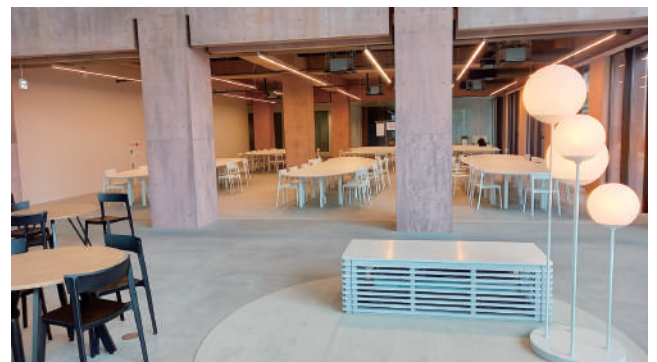
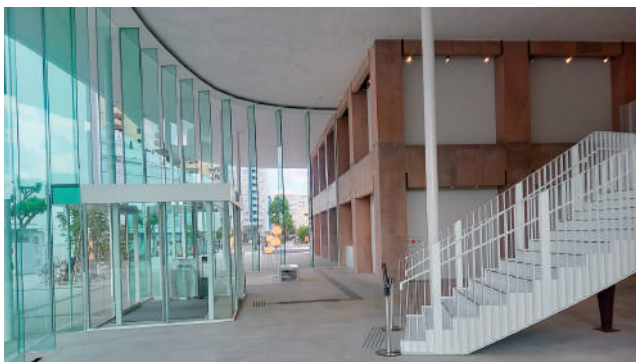
鹿島理事長は、最新工法による大屋根とそれが創り出す空間は“雲のごとく高く 雲のごとく輝きて 雲のごとくとらわれず”という小川未明の詩にあるような常に発展を目指す本学の象徴であり、国内初の試みで

あろう24時間自由に使える新たな学修スペースは“学生ファースト”のコンセプトに基づいていると述べられています。

さらに、18歳人口の減少や歯学部の人気低下など歯学部を取り巻く環境は厳しく困難な状況であり、それらを打破し受験生に本学への関心、歯学への好奇心の向上のためには、他大学にはない「オンリーワン」を目指す本学独自のブランディングが必要であり、まさにキャンパスセンターはその取り組みの一つであると述べられています。

2024年初頭から半年を計画した現在、学修スペースは新生を迎えて予想以上の盛況です。在校生は従来の講義棟・図書館・学食に加えて正門に直結するキャンパスセンター学修室スペースが加わったことで学修環境が整備されさらなる学力向上が期待されます。

なお、旧本部棟は5月から解体工事が始まり、次年度以降も講堂の多目的施設建替えの計画など、母校の永続的な発展は順調に進んでいます。



# 聞きたい授業！

学校法人神奈川歯科大学 学長 櫻井 孝先生



櫻井学長、今日は新しいカリキュラムについてお話しを伺いたいと思います。神歯大のカリキュラムがだいぶ変わったと聞いています。どのように変わったのかお伺いしたいと思います。

主体性を涵養するために、内発的なモチベーション（やる気）を上げる工夫をしました。成績優秀な学生を表彰するといったことは外発的なモチベーション向上の一つですが、学生が内面から楽しく感じ、やる気を起こすためのシステム作りに努力しています。

具体的には、ディスカッションやグループワーク等、学生参加型の授業を増やしました。国家試験対策である詰め込み式の授業だけではおもしろくありません。歯科医学の面白さを知り、できるだけ学生個々の状況に応じた教育環境を提供することにより、成功体験を積み重ねていけるようなカリキュラム改善を進めています。

また、大学教育に対して社会に通用する能力の育成が強く求められるようになり、文部科学省からの大学教育における必須の教育事項等についても、各種の変更や強化がはかられています。歯学部もその例外ではなく、歯科大を卒業して就職した後は、大学で習ったことだけでなく、就職先の歯科診療所のやり方を習得したり、患者さんの希望に合わせて、それらを要領よく纏めて上司と相談するなど、様々な応用力が求められます。そのようなことは、歯学部だけでなく他の学部から実社会に出た場合においても同じように要求される事柄です。人間力ともいえるこの能力の育成が大学教育に強く求められるようになっていっています。大学には国家試験対策以上の教育が求められる時代になっているということです。

**これまでも国家試験対策で目一杯の授業だったと思います。新たな試みをする余裕はありますか？**

決して余裕がある状況とは言えませんが、その中でも改善できる試みはあります。学生満足度向上のためのカリキュラム策定を第一の目的として、新たな試みを取り入れ続けています。加えて、公的化される共用試験や国家試験合格率の向上に繋げ、学生や本学教職員がさらに誇りに思う大学に発展していければと考えています。

2014年度以前に卒業された同窓生の皆さんが学生だった頃は、1学年は前後期2学期制だったと思いますが、今は1年生から4年生では、1年間を5分割した5ステージ制を導入しています。1ステージ2カ月という短期間に少数の科目を集中して学修してもらうことで、着実に単位を修得していくことを目指しました。1月以降に実施されるステージVは、ステージIからIVまでに学修した内容を復習して振り返り、年度末の総合試験に備える期間としています。

また、COVID-19対策の結果、これまでの90分授業と80分授業は、同等の効果が得られる事がわかりました。

そこで、今後は16時までに正規の授業を終了し、16時以降を補講や学修支援室での弱点克服に活用できるように変更する予定です。

一学期内の教科を少なくして短期間に完結させる。するとその科目の合否が短期間で分かるわけですね。でも、出来ないヤツは困りますね。

前後期2学期制では、学修の成果がある程度わかるのが前期試験が終了する秋以降ということになりますから、5学期制で5月中くらいに一定の成果が把握できることは、学生にとっても教職員にとっても大変役立っています。また、学生の理解を確実なものとするために、全ての授業は録画し、自由に何度でも繰り返し学修できるようになっています。さらに、多数の教員を各学年担任として配属し、勉強だけでなく学生生活全般に渡ってサポートする体制を整えています。

本部棟がキャンパスセンターとして生まれ変わり、教育関係の教学部・教育企画部・教学IR室・募集広報部がワンフロア化して横の連携が強化され統制されたことにより、学生の状況把握がより円滑に行えるようになり、従来以上に綿密な連携のもとサポートが行えるようになりました。

欧米の大学で普及しているTA（ティーチング・アシスタント）と似ていますね。日本でも東大や阪大で教員を補助するため大学院生をTAとして活用しているようです。

**そのようなサポート体制は確かに学生教育に効果的と感じるのですが、結果、出来の悪い一部の学生を特別扱いするようになりませんか？**

画一的な授業に学生自身が合わせるのではなく、学生に適した授業を提供しようという試みです。特定の学生だけに行うわけではなく、タイプの異なる学生に対応できるよう、いくつかのやり方を用意して、学生のペースに合わせて授業を進めようという考えです。従来のような補講授業だけでなく「学修支援室」と言われる「寺子屋」を設け、授業に遅れ気味な学生をフォローするための組織も新設しました。反対に能力の高い学生にはさらにプラスαの授業を用意しています。

なるほど。最近ではハーバード大学のマイケル・サンデル教授が『実力も運のうち』（早川書房）の中でその事を指摘しています。「能力主義（メリトクラシー）にとって重要なのは、成功のはしごを登る平等な機会を誰もが手にしていることだ。はしごの踏み板の間隔がどのくらいであるべきかについては、何も言わない。」

生まれや身分で地位が決定された古い社会から、個人に平等に教育の機会を与え、その後は彼・彼女の努力の結果である業績（メリット）によって、その報酬が与えられるという考えがメリトクラシーです。大学ならば総ての人は平等に入学し授業を受けるが、卒業できるのは学生個人の努力によるという考えです。

ところが1970年代後半から人々に平等に機会を与えても、学生の能力やコンディションによって優劣がでることが分かつ



てきました。総ての人の学習能力は平等であるという考えは崩れてきました。具体的にはどのようにカリキュラムを変えたのですか？

本学では長きにわたり5ステージ制を導入しており、これまでの経験から1年生から3年生まで、ステージⅠからステージⅣまでの期間で、これまでの1年間の授業を履修できることがわかりました。そこで1月以降のステージⅤの期間を利用して、プラスαのカリキュラムを策定しました。先ほど述べたように、ステージⅠからⅣまでを復習して振り返るものです。

医学部でも十人に一人は脱落するそうです。生理学あたりが鬼門らしいです。東北大・医学部に留学した魯迅も解剖学で藤野厳九郎先生からノートの添削を受けています。高校で文化系を選択していた学生に生物学や化学を復習する機会はありませんか？

出来る人はどうするのですか？先に進むのですか？

学生の能力が多様化しているため、講義内容の設定がとても困難でした。成績優秀者には特待生制度がありますが、該当者は3名と少数であるため、その10倍程の優秀な学生さんを対象として、学外の社会と交わり、視野を広げる機会を設けました。条件は幾つかありますが、ボランティア活動、歯学研究の体験、インターンシップ（歯科診療室の体験）、国内外短期留学など、学生が自分で選択できるシステムとなっています。

ボランティア活動として地域での交流・活性化やまちづくり、被災地支援、医療支援などが行われています。活動先は大学が推奨する箇所ですが、本人の開拓も可能とします。

歯学研究は本学の研究室の指導により研究を行い、発表をします。

それらの活動を「振り返り学修」科目の一部とし、単位を認定する事としました。このようなボランティア活動等を取り入れている大学はありますが、単位まで認定している大学は少数です。

留学生への配慮はどうされていますか？

令和6年度から共用試験としてのCBT、OSCEが公的化され、合格しないと臨床実習や国家試験が受けられません。留学生はOSCEだけでなく5年生からの臨床実習で、患者さんとの円滑なコミュニケーションをはかる日本語能力が求められます。この対策として「留学生のための日本語」の科目を再構築して強化しました。



あと、楽しい学生時代への配慮がほしいです。思春期に勉強ばかり押しつけられては健全な人間にはならないでしょう。

昔、人気の女学生とデートしたニール・セダカは「おお！キャロル」をヒットさせ、これが全米第4位。クイーンズ・カレッジで同級のポール・サイモンは彼女にデモテープの作り方を教えました。1970年代には本人キャロル・キングは大活躍で、横須賀中央には彼女の歌で溢れていました。

また、AI（人工知能）が進んで過去のデータが簡単に利用できるになるとクリエイティブな発想が求められます。義歯なんて大学で習うより卒業後に習う事柄が多いです。難しい症例を前に自分ひとりで立ち向かう困難の連続です。大脳皮質だけでなく大脳辺縁系も重要だと思います。

聞くだけの講義を減らし、自発性を伸ばすグループワークを増やしています。必修科目に「異文化コミュニケーション」や「PBL」があります。前者は、医療に求められるコミュニケーション能力を高める一環として、言語や文化が異なる相手とどのように理解し合うかを学びます。講義もありますが、グループワークを行って学生同士で違いを認め合いながら相手を理解することを体験します。学生間の交流がとても活発に行われています。

それは楽しそうですね。自分も英語教室に通ったことがありますが、そこでは若者や女性が対等に接してくれるので新鮮でした。いろいろな考えを聴くと視点が広がり、頭の体操にもなりました。学生さんにも楽しい思い出になるといいですね。

余裕がある学生には自由科目として中国語・韓国語の入門講座もあります。これらを受講した日本人と、「歯学のための日本語」を受講した留学生が合流する場もあります。お互いに自分たちが学んだ事を話そうとして、まあ、こちらにもぎやかです。

個々の授業やカリキュラムに関するフィードバックはどうしていますか？

個々の授業については毎日、また科目終了時にも授業評価アンケートを実施しています。さらに定期的に学生参画の聴き取り調査等も実施して、フィードバックを図っています。

ファカルティー・ディベロップメント（大学教員の教育能力を高めるための実践的方法）ですね。

そうです。また、学生に対して複数のアンケートを行っています。以前は「この学校が良かった」という意見が50%を大幅に下回る状況でしたが、新しいカリキュラムを始めて2年経過し、かなり改善しています。

すごいですねえ。あと国家試験対策は継続されていますか？

それは学生満足度とならぶ最重要課題です。1年生からシームレスに学び、そして単年度ごとに振り返り、4年生で強化し、最終学年で集大成が図れるように構築しています。

（聞き手 伊佐常樹）

神奈川県支部の広報誌「神奈川県神歯大同窓会報」第101号（6月15日発行）に掲載された櫻井学長へのインタビュー記事を櫻井学長、神奈川県支部の許可をいただき、転載いたしました。

## 神奈川歯科大学同窓会 新役員名簿

役 職	氏 名	卒業回	所属支部	
会 長	大 舘 満	7	神奈川県	
副会長	相原 元一	4	静岡県	
	小野 秀樹	7	愛知県	
	桂 一平	7	埼玉県	
	嶋中 繁樹	8	青森県	
	山田 昭彦	12	大阪府	
	平良 恵信	13	沖縄県	
	上岡 新二	15	高知県	
	山口 幸一	16	東京都	
	金子 守男	18	神奈川県	
専務理事	秋本 進	8	大学	
常務理事	総務・財務	高橋 朗	12	埼玉県
	財務	山田 良広	18	大学
	渉外	植村 敏夫	11	千葉県
	組織	平田 宗善	16	東京都
	広報	川端 啓義	12	埼玉県
	学術	山中 秀起	15	神奈川県
	福祉・厚生	木本 一成	13	大学
	情報処理	佐藤 誠	5	山形県
理事	総務	大澤 一雄	22	千葉県
	財務	大川原 亨	23	神奈川県
	渉外	芦田 治	11	神奈川県
	組織	土肥 雅彦	20	東京都
	広報	新井 宗高	28	神奈川県
	学術	別部 尚司	7	東京都
	学術	前畑 香	31	神奈川県
	福祉・厚生	徳島 清	11	北海道
	情報処理	竹花 英明	8	神奈川県
	情報処理	加藤 淳一	19	静岡県
監 事	細谷 孝明	5	神奈川県	
	奥村 敏之	8	熊本県	
	七沢 久子	9	山梨県	
顧 問	鈴村 佑子	1	神奈川県	
	村岡 宜明	6	神奈川県	

〔任期：2024年4月1日～2026年3月31日〕

## 同窓会新役員就任のご挨拶



副会長 相原元一

この度、大館会長のもと、引き続き副会長を拝命いたしました。微力ではございますが、大館執行部を誠意をもってより一層のサポートをしていく所存です。

組織改革、定款改正、記念事業など早急に取り掛からなければならない事案が控えておりますので、役員全員の力を合わせ任務を全うできますよう頑張っておりますが、皆様のご理解とご協力が必要ですのでよろしくをお願いいたします。

また、増加する女子学生を含む女性部会、若い先生に対する青年部会、クラスを代表するクラス部会などを横糸、縦糸として会員の増加、組織の増強も図っております。この点も今後のご協力をよろしくをお願いいたします。



副会長 小野秀樹

当時、竣工したばかりのピカピカの講堂で7回生として入学して約半世紀。今年の桜も満開でしたが、この数年で母校のキャンパスは見事に生まれ変わってきています。アーチェリー部の仲間と創部50周年祝賀会を開催し絆を一層深めることができました。

浅学非才ではありますが、引き続き同窓会活動に係わりをもてることに感謝しています。会員の皆様も卒業後の人生をより豊かにするためにも同窓会を御活用下さい。



副会長 桂 一平

コロナ禍においての同窓会活動はかなり制約を強いられ本来なら開催されていた節目の50周年事業も延期となっています。どの様な形になるかは現時点で決

まっていませんが、大切な事業ですので会員の賛同を得る様に会長の元、協議したいと考えています。

既に到来している同窓会員の高齢化への取り組みが重要な課題となっております。組織の見直し、小さくても機能する同窓会、新しい時代に即したあるべき姿を、会員と共に切り拓いていかなければなりません。その使命を持って次の同窓会を担う人の助けになる活動をして任期を終わりたいと思います。会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。



副会長 嶋中繁樹

第6期・大館執行部が始動するに当たり、北海道・東北地区より推薦を受け副会長に就任致しました青森県支部・8回生・嶋中繁樹です。

平成30年3月末まで支部長・代議員として東北各県、横須賀と行き来しておりましたが、現役を退いた後は青森県支部も若返り、同窓会に関しては、ここ数年隠居しておりました。再度第一線に身を置くことになりましたが、はたして皆様方にご迷惑をお掛けすることなく務められるかが不安となっております。

出来るだけ『老害だ』と思われないように、務めて参りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



副会長 山田昭彦

この度、近畿北陸地区連合会のご推薦により本部同窓会副会長を引き受けることになりました大阪府支部12回生の山田昭彦で御座います。私は長きにわたり予算決算特別委員会にて職務をこなして参りました。今年度より副会長の重責を務める所存ですので何卒宜しくお願い致します。



副会長 **平良 恵信**

前任の赤城先生から九州地区連合代表の副会長を引き継ぎ、大館執行部の一員になりました。コロナ禍ということもありWEB会議が中心の理事会でしたが、昨年からは参集での理事会とWEB会議の混合になり、横須賀に行く機会が増えました。そのおかげで大館会長をはじめ理事の先生方とも親しくなり、理事会の進め方にも慣れてきて意見を発言する機会も増えてきています。

執行部と九州地区連合会との間で理事会の状況を報告し、九州地区連合会からの要望等を理事会に上程する等が私の役割だと思いますので、理事会の中で精一杯頑張りたいと思います。



副会長 **上岡 新二**

この度、中国・四国地区選出の副会長を務めさせて頂くことになりました。

微力ではありますが同窓会のお役に立てるよう精一杯務めて参りたいと思います。

何分にも初めての事ばかりですので諸先生方のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



副会長 **山口 幸一**

このたび神奈川県同窓会東京支部連合の推薦を受け、大館同窓会会長より指名を頂き副会長と言う重責を担うことになりました16回生の山口幸一です。

東京支部連合会においては15年余の役員経験がありますが、実際のところ本部同窓会の役職は初めてです。しかしながら支部にしても本部同窓会にしても同窓会の目指すところは同じと考え、以前の代議員会において協議された組織改革の目的の一つである「世代を超えた魅力ある同窓会の構築」を目指し同窓

会活動に邁進していく所存です。

以上、簡単では有りますが、今後ともご指導、ご鞭撻の程、お願い申し上げまして就任の挨拶とさせて頂きます。



副会長 **金子 守男**

この度、大館会長から副会長を拝命いたしました神奈川県支部長の18回生の金子守男です。神奈川県同窓会では、長年、会計担当として携わってまいり、また神奈川県支部長を務めて4年目となりました。神奈川県支部は、母校のおひざ元でもありますので、支部長としても本部同窓会を応援して行く所存です。今までの経験を生かして同窓会のため頑張っていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



専務理事 **秋本 進**

引き続き大館会長の下で専務理事を務めさせて頂くことになりました。

会長を補佐することで、本部同窓会業務をできるだけ速やかに運営するとともに、同窓会会員相互の親睦などにも齟齬を生じないように努力していきたいと思っています。

役職にそぐわないと思われる先生もいらっしゃると思いますが、今後3年間の任務に対してこれまで同様応援頂ければ幸いです。宜しくお願いいたします。



常務理事 **高橋 朗**

12回生の高橋 朗です。この度、大館会長執行部の総務・財務担当常任理事を拝命し、身が引き締まる思いです。浅学非才の身ではありますが、神奈川県同窓会の発展のため微力ながらお手伝いできればと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



常務理事 **山田良広**

大学支部からの推薦により、引き続き財務担当常務理事を拝命しました18回生の山田良広です。微力ではありますが勤めさせていただきます。大学教員ですので、大学および在校生と同窓会のパイプ役もできればと考えています。どうかよろしくお願いいたします。



常務理事 **川端啓義**

大館同窓会会長より広報担当の常務理事を拝命しました埼玉県支部の川端啓義（12回生）と申します。広報活動は、本部と支部の同窓生の方々との懸け橋となります。皆さんの声や意見を頂きながら情報の透明性と正確性を以って、皆さんにお伝え出来るよう努めます。

今後とも、皆さんと協力しながら同窓会の発展に努めてまいります。



常務理事 **植村敏夫**

新緑の候、同窓会会員の各位におかれましては、益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度は、大館執行部のメンバーとして、渉外常務理事を再度務めさせていただく事になりました、11回生の植村敏夫です。

同窓会の運営・会務を行うにあたり、すべての事に費用が高騰しております。役員。事務局員と努力して対応しておりますが、非常に厳しい状況でございますので、会員の先生方のご理解ご協力をお願い申し上げます。



常務理事 **山中秀起**

この度、大館 満会長より学術担当の常務理事を拝命致しました15回生の山中です。

これまでに同窓会学術委員会では様々な学術講演会を開催し、またZoomでの配信が整い、会員の先生方がどこでもご参加できる体制にし皆様の臨床力の向上にお役に立てるような情報をご提供できるよう頑張ってきました。今後も努力精進する所存でございますので、皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。また、学術へのご要望などあればご意見ください。お待ちしております。



常務理事 **平田宗善**

本部同窓会の組織担当・常務理事に再任され、18年継続しての担当になりました。

歯科医師として横須賀市稲岡82番地が本籍の意識を常に持ち、同窓会、大学の発展のために尽力いたします。

今後とも、ご指導宜しくお願いいたします。



常務理事 **木本一成**

引き続き、福祉・厚生を担当することになりました。今期でも、やはり大規模災害による被災会員への対応の検討が挙げられましょう。また、公衆衛生上、安全上および経済上の事象に関して情報収集・提供を図って参ります。微力ではございますが、会務遂行に邁進し、同窓生のために鋭意努力する所存ですので、何卒御交誼賜りますよう宜しくお願いいたします。



常務理事 佐藤 誠

引き続き情報処理部を担当するように指示を受けた佐藤誠です。

新型コロナの間、webでの会議場を設営し、同窓会機能が停滞しないようにしました。また新しいホームページで、同級生や先輩、後輩のようすを知るため「会員のページ」を作りました。メールが出来れば、どなたでも投稿しやすくしてあります。まず同窓会事務局に電話しパスワードを聞いてください。のぞいて見て、「最近のわたし」写真やコメントを送ってください。



理事 大澤一雄

引き続き総務の理事を担当させていただきます、22回生の大澤一雄です。

大館会長の同窓会の組織がさらに発展していければと思います。

会員の先生方のご協力もまた必要と考えます。どうぞよろしく願いいたします。



理事 大川原 亨

財務担当理事を拝命いたしました23回生の大川原亨と申します。

よろしく願いいたします。

神奈川県の大和綾瀬歯科医師会に所属しております。大学卒業から早いもので30年以上経ちましたが、このような形で母校の同窓会に関われますことに感謝しております。

学生時代は部活動にも所属せずアルバイトに明け暮れておりました。

卒業後も大学に残らず、すぐ勤務医となりましたので、あまり顔が広くありませんが先輩方に色々教えていただいて伝統のある同窓会を盛り上げていきたいと

思っております。

微力ながら一生懸命頑張りますので、皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



理事 芦田 治

大館会長より引き続き渉外担当理事を仰せつかりました、11回生の芦田 治です。

5年にわたったコロナも昨年5類になり渉外の活動もだんだん元に戻って、これから同窓会員の皆様とお会いする事が増えると思います。今後とも宜しくお願い致します。



理事 土肥雅彦

組織担当の理事を拝命しました土肥雅彦でございます。当同窓会は創立して半世紀を超え、1回生から55回生まで幅広い世代の会員で構成されるようになりました。これまでの経験蓄積を糧にして、近年の時代の変化に機敏に対応する組織、そして全ての世代に愛される組織作りに励みたいと思います。大館会長のもと微力ながら粉骨砕身努めてまいりますので、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



理事 新井宗高

今年度より理事を務めさせていただきます28回生、神奈川県支部の新井と申します。

同窓会会員の先生方に、各都道府県支部の同窓会活動を含め、神奈川歯科大学同窓会の活動の情報を発信してゆきます。



理事 別部尚司

このたび、再び学術担当理事を仰せつかった7回生の別部尚司です。

本部学術講演会、支部との連携、学術講演会、神奈川県歯科大学学会との連携、学会の地方開催などを中心に、学術委員、学術協力員と共に、皆様の生涯にわたる学術ライフを豊かにするために努力して参ります。

さらに、今までの私の学術ライフを通じて得られた知人、友人や大学関係者のご協力をいただきながら、卒後の他大学勤務、他大学大学院入学や海外留学のお手伝いなどのお役にも立ちたいと思っておりますので、ご希望がある方や親御さんは相談してみてください。

必要な情報や連携が得られるように努力する所存です。

皆様とともにより良い卒後環境を構築し、学術関連の事を中心に、生涯育てていけるように、今後ともお手伝いをしていく所存ですので皆さまどうぞよろしくお願い致します。



理事 前畑 香

前期に引き続き、大館会長より学術担当理事を拝命致しました神奈川県支部（31回生）の前畑 香です。同窓会学術は同窓会会員の皆様に、学術講演会を通して“知識の還元”をさせていただきたいと考えております。同窓会会員の皆様だけではなく、貴医院スタッフの皆様の知識と技術の向上を目指すと共に、歯科界に貢献することができますよう、企画・開催に努めていく所存です。ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



理事 徳島 清

福祉共済部担当の11回生の徳島清です。理事に就

任して15年がすぎました。

その間、試行錯誤しながら、会員の先生方のお役に立てるように努めてきましたが、至らないこともありました。令和6年に新しい執行部が発足し、新執行部の一員として再び活動できることは、光栄なことと感謝しております。

今後3年間は、お役にたてるように、頑張っ務めさせていただきます。



理事 竹花英明

情報処理部理事の竹花英明（神奈川県同窓会、8回生）です。

長いこと同窓会ホームページの制作維持管理を担当してきましたが、この度情報処理部佐藤常務理事のご尽力で、ホームページ外注の試みが軌道に乗ってきました。

今後は、広報部、同窓会事務局と連携し、若い会員諸氏からもご意見を伺いながら、様々な業務に明るく楽しく元気よく取り組んでいく所存です。

どうぞよろしくお願い致します。



理事 加藤淳一

うだるような暑さが続いています、先生方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

前期に引き続き今期も情報担当の理事を仰せつかりました19回生の加藤淳一と申します。

IT関連はわからない事ばかりですが、同じ情報担当の佐藤先生や竹花先生にご教授頂きながら頑張る所存でございますのでどうぞ宜しくお願い致します。

誠に簡単ではありますが役員就任の挨拶とさせていただきます。



監事 細谷孝明

この度の監事選出有難うございました。さて、監事は何をしたらいいのでしょうか。財産の管理、執行各事業の実行状態、歳入歳出の適正などを見ていくのは基本的な仕事ですが、もっと全体を観察する必要があると思います。歯科医師になって、大学への感謝、愛着、満足感はどうでしょう。よくメリットは！との言葉を聞きます。医療の充実には、同窓会の無料で受けられる学術(言葉は悪いが)を利用する、情報が足りなければ、いつでも同窓会が近くにあります。そのようなメリットを使ってください！監事としては同窓生が同窓会と共にいることを期待します。



監事 奥村敏之

前期1年間の任を終え、新たに今期2期目の監事職務を拝命することになりました。前期の1年間でやっと監事業務を一巡し同窓会の資産・財産等に触れていたとはいえ、会員諸氏の大事な財産だけにしっかりと使途管理の礎に徹したいと思っています。現執行部の各諸氏は、地方末端までは届くか否かは計り知れない所はありまして会員の為にとする気持ちが強く、監事職を通して運営の資産・財産にも意見を述べながら会員への恩恵が図られる様に行っていきます。



監事 七沢久子

同窓会の皆様におかれましては、ご清栄のこととお慶び申し上げます。昨年引き続き第6期大館満会長執行部の監事に仰せつかりました七沢久子です。皆様のご理解を賜り、微力ではございますが、母校の同窓会に貢献できるようお支えできれば幸甚です。これからの神奈川歯科大学の益々のご発展を祈念申

し上げますとともに、会務の運営など鑑みながら、同窓会の更なる飛躍を願っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



顧問 鈴木佑子

平成24年度から令和5年度まで神奈川県支部推薦で副会長を拝命し、10年余に涉って大館会長の目指す同窓会組織をより充実させるべく尽力してまいりました。今年度からは顧問を仰せつかり、今まで同様に一生懸命に務めてまいります。よろしく願いいたします。



顧問 村岡宜明

神奈川歯科大学同窓会顧問を委嘱されました6回生の村岡宜明と申します。就任に当たっては、「顧問」であることを自覚し同窓会の益々の発展のため微力ではありますがお役に立てたら幸いです。そのため僅かではありますが日本歯科医師会・日本歯科医師連盟での経験を活かすよう努力する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



# 第98回代議員会報告

令和6年2月24日（土）午後2時から神奈川歯科大学キャンパスセンター2階多目的ホールにて、神奈川歯科大学同窓会第98回代議員会が、以下のような流れで議事が進行した。

## 【開会】

飯塚務代議員会議長が開会を宣言し、鈴木佑子副会長が開会の挨拶を行い、出席者からは拍手が送られた。

## 【点呼】

秋本進専務理事が代議員の出席状況を確認し、代議員会の成立を報告。

## 【議長挨拶】

副議長の欠席について説明し、議事の進行を説明。

## 【議事録署名人の選出】

栃内明啓代議員（7番）と北條茂男代議員（13番）が選出。

## 【大館満 同窓会会長挨拶】

過去の出来事や将来のイベントについての報告。自然災害で過去に起きた地震や今回の石川県の地震に触れ同窓会員に被害がなかったことを報告。本年度の全国歯科大学同窓・校友会懇話会について報告、本年度は、神奈川歯科大学が主幹を務めることを説明。

50周年行事を来年に開催する計画を報告。政治活動については、会長が連盟参与に就任する事、選挙活動についての要望を述べた。

## 【鹿島勇 理事長挨拶】

新本部棟について挨拶し、新本部棟は、昨年12月28日に引渡しを受け、年末から正月にかけて引っ越しが行われ3月までに完了予定である。まだ進行中の工事もあるが、旧本部棟の取り壊しは、今年の5月から始まる予定である。

新本部棟の特徴が3つある。まず、トワイライトピンク色のカラーコンクリートが特徴で、光の強弱によって建物全体が変化する生命体のようなイメージを持っている。次に、2階から大きく張り出した帽子のような屋根があり、これは雲をイメージして高く輝き、成長と発展を表現。元々5階建ての予定であったが、4階建てにしたことで空間の広さを確保し、無用の用を避ける設計となった。さらに、1階には24時間開放型の学習室が設けられ、そこには寄附されたピアノも置かれている。本学のビルの改造は今後も続き、研究棟やアリーナ構想も進行中である。また、コロナ禍での対応にも触れ、歯学部学生の確保や同窓会の支援を呼びかけた。

## 【槻木恵一 副学長挨拶】

学長が公務で台湾に出張中のため代弁、神奈川歯科大学の教育面や現在の状況について具体的な内容が述べられた。学校の教育システムについて、教育企画部が立ち上がり、教授中心から一貫性のある教育へと変化していることが述べられた。また、現在の学生は以前とは異なり、真面目で紳士的な姿勢を持っており、教員も丁寧に教育を行っているとした。同時に、学生数の減少や同窓会への支援の必要性も強調された。

神奈川歯科大学の発展についても触れられ、今後の期待に向けての意気込みが示された。

## 【黙祷】

代議員会は、34人のご冥福を祈り黙とうを捧げ追悼しました。

## 【報告】

会務報告や会計現況報告、予算決算特別委員会報告、表彰選考委員会報告が行われた。報告内容は、会員現況や財務状況、委員会の進行状況などであった。大館会長が、岩本憲先生と鷲頭正大先生に有功章を、長崎県支部と埼玉県支部の代理人に授与。その後、坂口和歌子先生に奨学者賞が授与された。学内報告が行われ、青山典生募集広報部長が学生募集の取り組みについて説明し、飯塚議長は、各報告に感謝を述べた。

国家試験の最近の動向と学内人事についての質問に対して、執行部は国家試験に関する情報を提供、学内人事については参考資料を提示。入会率の数字、増加についての質問には、大館会長は同窓会の歴史的な問題とその解決策に触れた。

## 【議事】

第1号議案から第8号議案：令和4年度の各会計に関し、一括上程された。これには一般会計、事業運営安定化資金、事業基金会計、福祉共済部会計、奨学金基金会計、前受金会計、災害支援基金会計等が含まれ詳細に説明され議事は進行し、監査報告が行われた。各議案が採決され議案は適正と認められ、賛成多数で可決承認。

第4号議案から第9号議案の審議では、各議案について質問はなく、各議案に対して賛成多数で可決承認された。

第10号議案から第19号議案：令和6年度の各事業計画・予算に関して一括上程され、詳細に説明された。議事は順調に進行し質問や意見はほとんどなく、各議案は挙手多数で可決承認。ただし、第16号議案では、災害支援基金に関連する質問があり、議長や理事が具体的な説明をし、災害支援の現状や基金の役割について述べられた。

第20号議案：「1. 正会員の名誉会員枠の設置について」「2. 会員資格・会費免除に関する件」等あり、これに関し会則改正を伴う。代議員会の規定では、特別委員会を設置し会則改正まで行うという代議員会と執行部との約束があるため特別委員会を設置したい意向。そこで特別委員会の設置に関する意見が交わされ、議事の進行方法についても議論され、特別委員会の設置が、賛成多数にて可決承認された。

第21号議案：福岡歯科大学卒業の神奈川歯科大学歯学部臨床科学系全身管理歯科学講座高齢者歯科学分野 林恵美准教授が、特別会員に可決承認された。

第22号議案：54名の退会対象者が、可決承認された。

第23号議案：選挙管理委員会から、会長・監事の選挙を執り行う経過報告がなされ会長、監事とも候補者が定員通りであったので、投票によらず代議員会の議決で可決承認された。会長を大館満会員、監事を細谷孝明会員、七沢久子会員、奥村敏之会員が決定した。その後、4人の先生方から就任の挨拶があった。

#### 【協議】

議長は特別委員会への諮問内容を提起し、会長はそれについて説明。協議題は、正会員の名誉会員枠の設置、会費免除に関する件、寄付金の受入れ、会則の改正、コロナ禍における活動の適応、学術講演会の開催形式に関するものであった。特に会費免除の件では、会員の心理や対応方法を議論した。選挙や学術講演会の形式についても意見交換が行われ、今後の協議が必要とした。

#### 【閉会】

浅井智司副会長の挨拶で閉会した。

記：高橋 朗（総務担当常務理事／12回生）



大館会長挨拶



鹿島理事長挨拶

# 令和5年度定時総会報告

令和6年2月24日（土）午後4時40分から、本学キャンパスセンター2階多目的ホールにて、神奈川歯科大学同窓会第98回代議員会終了後、神奈川歯科大学同窓会令和5年度定例総会が、高橋朗常務理事司会のもと開催された。

## 【開会】

鈴木佑子副会長より、開会の辞が述べられた。

## 【議長・副議長選出】

議長に東京都の篠原一也先生、副議長に綱川統雅先生を選出。

## 【議事録署名人選出】

議事録署名人に、埼玉県支部の平澤克也先生、千葉県支部の椎野広巳先生を選出。

## 【大館満会長挨拶】

最後までお残りいただき、ありがとうございます。昔から総会は寂しいなという思いでやっておりましたが、今日は非常に多くの人に残っていただいています。

先ほど挨拶をさせていただきましたので割愛いたしますが、後ほど退職教授の祝賀会もごございます。どういう名称がいいか、ちょっと理事会でもめました。代議員会の懇親会という気持ちもありますので、ぜひ多くの人に参加していただきたいと思います。よろしく願いいたします。

## 【報告】

代議員会報告：飯塚務代議員会議長から、第98回代議員会を本日の14時から開催された。

大館会長挨拶、鹿島理事長挨拶、槻木副学長挨拶、報告事項、表彰者として故岩本先生と鷲頭先生が承認された。

議事では、1号議案から23号議案まで異議なく代議員の先生方に賛同頂いた。選挙では、大館先生、細谷監事、奥村監事、七沢監事、定員内の選出であった。次期の役員は、会長に一任で決議された。

## 【議 事】

- 第1号議案 令和4年度一般会計－1歳入・歳出決算
- 第2号議案 令和4年度一般会計－2（事業運営安定化資金）歳入・歳出決算
- 第3号議案 令和4年度事業基金会計－1歳入・歳出決算
- 第4号議案 令和4年度福祉共済部会計－1歳入・歳出決算
- 第5号議案 令和4年度福祉共済部会計－2（同窓会年金）歳入・歳出決算
- 第6号議案 令和4年度奨学金基金会計歳入・歳出決算
- 第7号議案 令和4年度前受金会計歳入・歳出決算
- 第8号議案 令和4年度神奈川歯科大学同窓会災害支援基金会計歳入・歳出決算
- 第9号議案 資産目録に関する件
- 第10号議案 令和6年度事業計画（案）
- 第11号議案 令和6年度一般会計－1歳入・歳出予算（案）
- 第12号議案 令和6年度一般会計－2（事業運営安定化資金）歳入・歳出予算（案）
- 第13号議案 令和6年度事業基金会計－1歳入・歳出予算（案）
- 第14号議案 令和6年度事業基金会計－2（名簿発行事業）歳入・歳出予算（案）
- 第15号議案 令和6年度福祉共済部会計－1歳入・歳出予算（案）
- 第16号議案 令和6年度福祉共済部会計－2（同窓会年金）歳入・歳出予算（案）
- 第17号議案 令和6年度奨学金基金会計歳入・歳出予算（案）
- 第18号議案 令和6年度前受金会計歳入・歳出予算（案）
- 第19号議案 令和6年度神奈川歯科大学同窓会災害支援基金会計歳入・歳出予算（案）
- 第20号議案 特別委員会の立ち上げについて
- 第21号議案 特別会員の承認に関する件
- 第22号議案 退会者承認に関する件

第1号議案から第22号議案は、一括上程で逐条採決で行うことを諮り承認され、質問はなく採決に移る。第1号議案から第22号議案について、逐次賛成に挙手を求め全議案挙手多数により可決承認された。

#### 【協議】

代議員から、今回の代議員会議長と各特別委員会委員長を代議員会で決定しなかったが定款上どうか。大館会長から、議長は次の最初の代議員会で決める。以前は代議員会が2回で、5月の代議員会で議長を決め、それまでは今の議長に議長職を努めてもらおうと認識。委員会の委員、委員長は在宅承認になると認識していた。

代議員から、再度会長に選任されたが、長過ぎるのではと思うが、新しく会長をやるという気持ちでぜひやって欲しい。

代議員会から、会長の選出方法で正会員が1票を入れる権利があるので、直接選挙も考えてほしいと意見が出た。会長は、過去に代議員会で協議されたことがあり、結論は出ず現行の方法が良いのではとしている。時代は変化し、一から執行部・理事会で協議・意見交換してみると述べた。

#### 【閉会】

早野元晴副会長の挨拶で、閉会した。

記：高橋 朗（総務担当常務理事／12回生）

明日の口腔医療に貢献する歯科用機器・サプライ・書籍の総合商社

## 今日もTRADスピリットで。

大正12年の創業以来、田中歯科器械店は、  
伝統を守りながらも常に環境の変化に対応し、  
革新し続けることで発展してまいりました。  
そのスピリットを表現するシンボルがTRAD。

Traditionを意味するだけでなく、  
Tanaka Realize Advanced Dentalという強い意志を表しています。  
田中歯科器械店はこれからもTRADスピリットで、  
国民の口腔医療に貢献してまいります。



株式会社 田中歯科器械店

- 本 社  
〒102-8139 東京都千代田区富士見1-3-8  
Tel 03-3230-2386(代) Fax 0120-418-550
- 神奈川支店  
〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町26-3  
Tel 046-826-1640(代) Fax 0120-182-999
- 新潟支店  
〒951-8151 新潟県新潟市中央区浜浦町1-41  
Tel 025-267-1080(代) Fax 0120-438-020
- 日本歯科大学営業部附属病院売店  
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-3-16  
日本歯科大学附属病院内  
Tel 03-3263-9525(代) Fax 03-3263-9553
- 日本歯科大学営業部生命歯学部売店  
〒102-0071 東京都千代田区富士見1-9-20  
日本歯科大学生命歯学部に  
Tel 03-3265-8977(代) Fax 03-3265-0570
- 日本歯科大学新潟生命歯学部売店  
〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8  
日本歯科大学新潟生命歯学部に  
Tel 025-265-0850(代) Fax 025-265-0859
- 神奈川歯科大学営業所  
〒238-0003 神奈川県横須賀市稲岡町82  
神奈川歯科大学歯学部に  
Tel 046-826-1441(代) Fax 046-826-1465

<http://www.tanakadental.co.jp>

## 令和4年度 一般会計歳入・歳出決算収支計算書

自：令和4年4月1日  
至：令和5年3月31日  
(単位：円)

『歳入の部』	令和4年度予算額		令和4年度決算額	
1. 会費	2,796 口	38,720,000	2,911 口	40,515,000
2. 入会金	57 口	1,710,000	52 口	1,560,000
3. 負担金収入（甲種）	169 口	676,000	159 口	636,000
4. 学術収入		1,200,000		753,000
5. 繰入金		300,000		300,000
6. 寄付金		1,000		0
7. 雑収入		475,000		508,786
①預金利息（一般会計）		1,000		146
②預金利息（特別会計）		1,000		183
③広告料		350,000		366,080
④カード手数料		120,000		142,377
⑤その他		3,000		0
8. 繰越金		20,000,000		16,460,496
1. 受入金		5,840,000		5,840,000
歳入合計		68,922,000		66,573,282

『歳出の部』	令和4年度予算額		令和4年度決算額	
1. 事業運営費		50,866,000		32,019,646
内、予備費		979,000		
2. 事業運営安定化資金		6,840,000		6,840,000
3. 事業基金会計		5,286,000		5,510,000
甲種（2,643口）			甲種（2,755口）	
4. 福祉共済部会計		5,930,000		6,140,000
甲種（2,643口）			甲種（2,755口）	
乙種（322口）			乙種（315口）	
5. 奨学金基金会計		0		0
歳出合計		68,922,000		50,509,646
次年度繰越金（収支差額）				16,063,636

### 監査報告書

私達は、会則第12条の定めに従い、神奈川歯科大学同窓会の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度会計並びに会務執行の監査を行った。

令和4年度会計に於ける歳入・歳出に関する決算書について、精密なる監査を実施せるところ、証拠書類その他についていささかも不備が認められなかったことを証明する。

また、会務の執行については、会則に準拠し適切妥当に執行されたものであることを認める。

令和5年5月20日

監事 細谷 孝明

監事 奥村 敏之

監事 七沢 久子

神奈川歯科大学同窓会

会長 大館 満 殿

## 令和6年度 一般会計歳入・歳出予算

自：令和6年4月1日  
至：令和7年3月31日  
(単位：円)

『歳入の部』	令和5年度予算額	令和6年度予算額
1. 会費	36,635,000	34,410,000
2. 入会金	1,710,000	1,620,000
3. 負担金収入	1,080,000	1,452,000
4. 学術収入	600,000	600,000
5. 繰入金 <span style="margin-left: 20px;">同窓会年金会計より</span>	300,000	75,000
6. 寄付金	1,000	1,000
7. 雑収入	610,000	994,000
8. 繰越金	18,000,000	16,000,000
9. 一般会計 - 2 (事業運営安定化資金)より受入金	0	3,500,000
歳入合計	58,936,000	58,652,000

『歳出の部』	令和5年度予算額	令和6年度予算額
1. 事業運営費	46,866,000	46,794,000
内、予備費	( 1,099,000 )	( 1,006,000 )
2. 事業運営安定化資金拠出金	1,000,000	1,000,000
3. 事業基金会計拠出金	5,204,000	5,084,000
4. 福祉共済部会計拠出金	5,866,000	5,774,000
5. 奨学金基金会計拠出金	0	0
歳出合計	58,936,000	58,652,000

## 歳出の部 事業運営費内訳明細

自：令和6年4月1日  
至：令和7年3月31日  
(単位：円)

款	科 目		令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	比較増減 (△は減)	増減率% (△は減)	構成率 %
	項	目					
1.	事務費		12,302,000	12,382,000	80,000	0.65%	26.46%
	1.	職員給与費	7,401,000	7,443,000	42,000	0.57%	
	2.	諸手当費	1,068,000	1,105,000	37,000	3.46%	
	3.	特別手当費	1,984,000	1,985,000	1,000	0.05%	
	4.	税理士報酬費	467,000	467,000	0	0.00%	
	5.	福利厚生費	751,000	751,000	0	0.00%	
	6.	雑費	631,000	631,000	0	0.00%	
2.	需要費		6,192,000	5,969,000	△ 223,000	△ 3.60%	12.76%
	1.	備品費	535,000	452,000	△ 83,000	△ 15.51%	
	2.	消耗品費	500,000	500,000	0	0.00%	
	3.	印刷費	1,366,000	1,366,000	0	0.00%	
	4.	通信費	2,150,000	2,250,000	100,000	4.65%	
	5.	交交通費	1,641,000	1,401,000	△ 240,000	△ 14.63%	
3.	事業費		16,267,000	14,355,000	△ 1,912,000	△ 11.75%	30.68%
	1.	学術費	9,695,000	8,395,000	△ 1,300,000	△ 13.41%	
	2.	組織費	2,350,000	2,200,000	△ 150,000	△ 6.38%	
	3.	広報費	1,600,000	1,600,000	0	0.00%	
	4.	福祉厚生費	1,760,000	1,760,000	0	0.00%	
	5.	情報処理費	862,000	400,000	△ 462,000	△ 53.60%	
4.	会議費		7,936,000	6,722,000	△ 1,214,000	△ 15.30%	14.37%
	1.	総会費	10,000	10,000	0	0.00%	
	2.	代議員会費	3,430,000	3,650,000	220,000	6.41%	
	3.	支部長会費	20,000	20,000	0	0.00%	
	4.	常務連絡会費	430,000	80,000	△ 350,000	△ 81.40%	
	5.	理事会費	2,728,000	1,751,000	△ 977,000	△ 35.81%	
	6.	監事会費	212,000	224,000	12,000	5.66%	
	7.	各種委員会費	1,106,000	987,000	△ 119,000	△ 10.76%	
5.	渉外費		2,160,000	5,660,000	3,500,000	162.04%	12.10%
6.	社会貢献費		200,000	0	△ 200,000	△ 100.00%	0.00%
7.	還付金		710,000	700,000	△ 10,000	△ 1.41%	1.50%
8.	予備費		1,099,000	1,006,000	△ 93,000	△ 8.46%	2.15%
	事業運営費歳出合計		46,866,000	46,794,000	△ 72,000	△ 0.15%	100.00%

## 令和6年1月から6月までの会務報告

月	日	曜	行 事	出席者・講師	
令和 6年 1月	19	金	令和5年度第5回情報処理部 Zoom 練習会		
	20	土	第4回常務連絡会 (Web 会議)		
			令和5年度第1回奨学者審議部会 (在宅)		
	21	日	近北地区連合会代表者会議	大館会長	
	26	金	第10回学術委員会		
	27	土	東京都支部新年懇親会	大館会長	
			大阪府支部学術講演会	講師：石井信之教授 (14 回生)	
28	日	第40回全国歯科大学同窓会・校友会 学術担当者連絡会第2回準備会 (Web 会議)	別部理事		
2月	3	土	熊本県支部学術講演会	講師：田中健児先生	
			九州地区連合会支部長・代議員会議	平良副会長、奥村監事	
			神奈川県支部新年会	大館会長	
	4	日	寺崎 浩也先生相模原市歯科医師会会長就任祝賀会	大館会長	
	7	水	第11回学術委員会 (Web 会議)		
	17	土	大分県支部学術講演会	講師：杉原 俊太郎先生 (39 回生)	
	18	日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 -Back to the basic- ハンズオンセミナー 「誰でも導入可能なデジタル歯科治療の実践法 口腔内スキャナーを活用したデジタルワークフロー」	鈴木副会長 講師：木本克彦先生	
24	土	第5回理事会			
		令和5年度第1回支部長会			
		令和5年度第1回福祉共済部運営委員会			
		第98回代議員会			
			令和5年度定例総会		
3月	8	金	神奈川歯科大学卒業式		
			55回生謝恩会	大館会長、秋本専務	
	9	土	青森県支部総会・学術講演会	講師：槻木恵一教授 (24 回生)	
	15	金	令和5年度第6回情報処理部 Zoom 練習会		
	16	土	第5回常務連絡会 (Web 開催)		
	22	金	第12回学術委員会 (Web 会議)		
24	日	私立歯科大学歯学部同窓・校友会連絡協議会 12 校会長・専務会議	大館会長、秋本専務		
4月	13	土	15 回生クラス会		
	19	金	令和6年度第1回情報処理部 Zoom 練習会		
	20	土	令和6年度第1回常務連絡会 (Web 会議)		
			第71回全国歯科大学同窓・校友会懇話会実行委員会準備会 (Web 会議)		
			北海道支部学術講演会	講師：原田尚也先生 (9 回生)	
			新潟県支部学術講演会	講師：齊藤 功先生	
5月	12	日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 -Back to the basic- 深在性う蝕の生活歯髄療法を成功に導くために -The Latest Vital Pulp Therapy-	講師：辺見浩一先生	
	18	土	令和6年度第1回監事会		
			令和6年度第1回理事会		
				第71回全国歯科大学同窓・校友会懇話会 第1回実行委員会	
	19	日	千葉県支部総会・学術講演会	講師：石井信之先生 (14 回生)	
昭和大学歯学部同窓会創立 40 周年記念式典・祝賀会			大館会長		
25	土	九州地区連合会支部長懇談会・熊本県支部発足 50 周年を祝う会	大館会長、平良副会長		
		山形県支部総会・学術講演会	講師：佐藤 誠先生 (5 回生)		
6月	15	土	第2回常務連絡会 (Web 会議)		
			第71回全国歯科大学同窓・校友会懇話会 第2回実行委員会		
	22	土	福島県支部学術講演会	講師：山田良広教授 (18 回生)	
			第14回 神奈川県人会	大館会長	

# 令和5年度 第1回表彰選考委員会報告

日 時：令和5年12月3日(日) 午後3時より

会 場：横浜研修センター 7階会議室

出席者：飯塚委員長、栃内・長谷川・山田・篠原・綱川・長堂委員

(オブザーバー)大館会長、浅井・桂副会長、秋本専務理事、高橋常務、金子理事

## 1. 開会並びに挨拶 委員長 飯塚 務

## 2. 報告

第32回表彰推薦者

有功章 5回生 二木 肇 (東京都支部)

有功章 5回生 安村 治国 (東京都支部)

有功章 4回生 甲斐 順子 (大分県支部)

有功章 5回生 鈴木 吉久 (三重県支部)

## 3. 審議

第33回表彰推薦者(表彰選考委員会審議後、理事会・代議員会の在宅審議を経て令和5年度第98回代議員会にて表彰)

(届出日付順)

有功章 4回生 故 岩本 憲 (長崎県支部)

有功章 2回生 鷺頭 正大 (埼玉県支部)

推薦書をもとに有功章での推薦のあった上記2名について、協議の結果、表彰規則第3条2項により全会一致で承認された。

## 4. その他

特になし

## 5. 閉会 委員 栃内 明啓

(在宅議事令和5年度第1号) 第33回表彰者につきまして

(令和5年12月22日～令和6年1月10日)

表彰規則第4条に基づき、令和5年12月22日より令和6年1月10日までの期間で、代議員各位に在宅議事として審議を諮り、以下の通りの承認をいただきました。

推薦者2名とも1/2以上の賛成をいただきましたので、第33回表彰者につきましては、承認といたします。

有功章(2名)	承認する	異議あり	未回答
故 岩本 憲(長崎県支部) 4回生	66名/78名中	0名/78名中	12名/78名中
鷺頭 正大(埼玉県支部) 2回生	65名/78名中	0名/78名中	12名/78名中



# 令和5年度 第1回奨学者審議部会報告（在宅審議）

令和5年度の奨学者選定につきまして、令和5年度第1回奨学者審議部会を、在宅審議の方法で開催いたしました。審議期間、回答方法は以下の通りです。

審議期間：令和6年1月17日から1月29日の期間

回答方法：資料を送付し在宅審議回答書にて返信

## 1. 報告

- ・令和4年度第1回奨学者審議部会報告

## 2. 議事

奨学金申込 甲種2件（会費納入状況はいずれも完納）

歯学研究奨学金（甲種）

- （1）山本 伊佐夫（17回生・大学支部・甲種会員）会員期間 1986年入会  
神奈川歯科大学歯学部社会歯科学系 法医学講座 法医学分野 講師  
研究課題：Class III アルコール脱水素酵素（ADH3）のアルコール性脂肪肝発生における役割
- （2）坂口 和歌子（36回生・大学支部・甲種会員）会員期間 2019年入会  
神奈川歯科大学歯学部基礎歯科学系 病理・組織形態学講座 環境病理学分野 講師  
研究課題：IgAによる歯周病菌と関節リウマチの関連性の検討

在宅審議結果

令和6年1月17日より1月29日までの期間、在宅にて審議を行い、在宅審議回答書を以って採決とした。結果、部員8名全員より承認の回答があり、令和5年度の奨学金申請2件は承認された。

以上

## 松田謙一先生講演会報告記

学術担当理事 前畑 香

2023年11月19日、神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニックにて、大阪府ご開業 松田謙一先生をお招きし、『部分床義歯 臨床を成功させるキーポイント～よく噛める義歯を製作するために～』と題し、学術講演会が行われました。山中秀起学術常務理事の開会挨拶をかわきりに、講演は6時間(昼食休憩1時間を含む)に及びました。

本講演は、部分床義歯治療に関する内容ですが、はじめに、部分床義歯治療と全部床義歯治療の違い〔部分床義歯と全部床義歯の構成要素と義歯の動きに関する違い、印象および咬合に関する具体的な治療法の違い〕を解説された上で、部分床義歯治療に関し、ご教示されました。特に、部分床義歯の遊離端欠損症例を挙げ、部分床義歯の設計原則や、部分床義歯の動揺を

抑制するための支持・把持・維持作用を示し、部分床義歯治療で失敗しないための設計に関しご提案されました。その他、クラスプ、小連結子および大連結子の選択や、レストシートおよびガイドプレーンの形成、部分床義歯の補強構造についても詳しく触れられました。

質疑応答では、受講生から多数の質問が寄せられましたが、松田先生には長時間に亘り、丁寧にご回答されました。質問の中には、部分床義歯の難症例に関する症例相談や、日常臨床における治療の悩みなどがありました。

本講演では松田先生に、部分床義歯治療の基本から応用までをわかりやすく解説して頂き、明日からの臨床に応用できる内容だったのではないかと感じます。



2023年11.19開催 前列左から3番目 講師：松田謙一先生と学術委員会メンバー

## 木本克彦先生講演会報告記

学術委員会副委員長 大橋 桂

2024年2月18日、神奈川歯科大学附属横浜クリニック・横浜研修センターにて神奈川歯科大学歯科補綴学講座クラウンブリッジ補綴学分野教授 木本克彦先生をお招きし、「誰でも導入可能なデジタル歯科治療の実践法 - 口腔内スキャナーを活用したデジタルワークフロー -」と題し、学術講演会&ハンズオンセミナーが受講者14名で開催されました。秋本 進同窓会専務理事の開会の挨拶をかわきりに、講演と実習は6時間(昼食休憩1時間を含む)に及びました。また本講演では、木本克彦先生の他に同講座 星 憲幸先生、川西範繁先生、神奈川歯科大学附属病院技工科 中静利文先生、同病院メンテナンス科(歯科衛生士部門) 藤崎 みのり先生がそれぞれの視点から口腔内スキャナーの活用方法が説明された。

講演内容は、近年の歯科医療におけるデジタルテクノロジーの紹介から始まり、保険収載されている「ハイブリッドレジンによるCAD/CAM冠」を始めとする歯科治療のデジタルワークフローの利点、口腔内スキャナー(IOS)を如何に日常臨床に取り入れ応用するか、そしてデジタルデータの蓄積によるビックデータを用いた新たな医療展開について講演された。

そして、IOSを導入する際の検討事項(①精度(再

現性と感度)、②採得スピード、③購入コスト)と、術者側のテクニックエラー(①支台歯形成の不備、②支台歯マージンの不明瞭、③インプラントのスキャンボディ形態の不明瞭、④隣接面の採得不良、⑤データの歪み、⑥撮影枚数の超過、⑦咬合採得のズレなど)が紹介された後に、各メーカー(京セラ、日本歯科商社、モリタ)から提供されたIOSの実機13台(TRIOS 3/4/5、iTero、GOS 2、Prime Scan)を用いて、受講者が実際の光学印象を顎模型で体験し各機に触れることができる実習が行われ、準備された機器の多さからさながらデンタルショーの様相であった。

また講演の終盤では、歯科技工士と歯科衛生士からデジタルワークフローを導入する際の注意点や活用・応用方法をそれぞれの立場から講演された。

質疑応答では、受講生からIOS導入時の疑問点やデジタルワークフローに関する多くの質問が寄せられ、木本先生をはじめとする講師の先生方は丁寧にご回答されました。

本講演では、木本先生、星先生、川西先生、中静先生、藤崎先生がデジタル歯科治療の実践法をわかりやすく解説していただき、明日からの臨床に応用できる内容だったのではないかと思います。



2024年2月18日開催 前列左から2番目より川西範繁先生、星 憲幸先生、木本克彦先生、中静利文先生、藤崎 みのり先生と学術委員会メンバー



## 4年ぶりの集まり。高齢化が止まらない。

加藤克彦（11回生・山形県支部支部長）

2023年9月30日（土）鶴岡市湯野浜、旅館「みやじま」にて令和5年度神奈川歯科大学同窓会山形県支部社保研修会・懇親会を10名の参加のもと開催した。山形県支部の総会などの集まりは、コロナのために令和2年より中断し、4年振りの再開となる。事前に4年度決算案・5年度予算案の承認は済んでいる。久しぶりの懐かしい再開に胸が高鳴る。

午後6時より佐藤正知専務理事の司会のもと佐藤寿之副会長の開会の辞により開始された。まず、佐藤誠（5回生）先生による令和5年度社会保険についての講演があり、保険改定で留意する事など有益なお話をいただいた。さらに、海外旅行での感染症や怪我の体験談を披露され興味深い内容だった。御礼に、これからの無事を祈って熊野三山の護神符が贈呈された。

続いて懇親会に移った。3年の休会中を含め6名の先生方が古希を迎えられており、加藤支部長からお祝いと小白川天満宮のお守りを渡された。謝辞としてお一人お一人から近況の報告があり、医院継承や健康の話題が出て身につまされる思いだった。古希を迎えられた先生は佐藤 誠君（5回生）、石黒 豊君（7回生）常世 恵美子君（7回生）、鈴木正憲君（8回生）、安達節洋君（10回生）、熊沢正博君（15回生）である。山形県支部は平均年齢が65歳を超えて高齢化が進んでいる。鈴木正憲顧問の閉会の辞で一次会は終わった。久しぶりの懐かしい再会、日本海を眺め新鮮な庄内浜の味覚を味わいながら尽きない懇親は夜中まで続いた。

開催にあたり本部よりご支援を賜っております。紙面をお借りして御礼を申し上げます。





## 神奈川歯科大学同窓会群馬県支部 学術講演会2023報告

大原吉博（14回生・群馬県支部支部長）

2023年11月26日に横須賀市開業の27回生、小池軍平先生をお招きして『IOS（口腔内スキャナー）を用いた臨床の現在』の演題で3時間、デモを含めて勉強いたしました。他校のOBも含め14名の参加者で日曜日午前という開催時間は当会では初めての試みでしたが多くの先生に参加していただき、従来通りの土曜日夜開催も含め今後も検討する余地があると思えました。

昨今のIOSの技術進歩は凄まじく、片顎約1分程度でスキャンが可能で上下、咬合をスキャンし、画面上で補綴物の設計をして、削り出しまで短時間で可能になったことに驚きました。また、実際に削り出す工程をリアルで見学できたのは大きい収穫で、メーカー、価格帯によるスキャンスピードは、差は少ないが、スキャン精度には大きな差があること。加えてスキャン後のデータ利用のシームレスな連携や、問題点など多岐にわたりレクチャーしていただき3時間という限ら

れた中でもとても濃い内容でした。UI（ユーザーインターフェース）の使い勝手は秀逸で直感的に操作可能で昔のように経験を積んだDr、DTがPCを駆使してようやく作製というようなイメージではなくサクサクと出来上がる感じでした。補綴物作製のための光学印象、咬合状態の確認、TEC作製までの治療を多数の臨床例を用いて説明して頂き、口腔ケア指導もDHが画面上のアニメで判りやすく患者さんへ説明している姿もIOSの利用方法として可能性を感じるものでした。切れ味のよい小池先生のお話はポイントを押さえ判りやすく、3時間は、あっという間に過ぎ、すぐにもIOSを購入し臨床に導入したくなる内容でした。講演会後のランチ懇親会も役員、会員を含め8名の参加があり在学時代の話に華が咲き、母校の未来を含め、楽しい時間が過ごせました。





## 大阪府支部近況レポート

大塚 卓 (20 回生・大阪府支部支部長)

## 令和5年度事業報告

令和5年 4月1日 総会  
 5月24日 理事会  
 6月28日 理事会  
 7月26日 理事会  
 8月5日 夏期学術講演会 ヨシダロータリーファイル  
 9月9日 レクリエーション開催  
 27日 理事会  
 10月25日 理事会  
 11月22日 理事会

令和6年 1月21日 近畿北陸地区連合会開催  
 1月27日 石井信之先生 歯内療法変革時代に歩んだ軌跡  
 2月24日 神奈川歯科大学同窓会代議員会  
 28日 理事会  
 3月27日 理事会

会員の先生方のご支援により、大変有意義な年となりました。

今後も更なる発展を目指し、努めて参ります。



2024年1月27日開催の大阪府支部学術講演会『歯内療法変革時代に歩んだ軌跡』  
 写真中央が講師の神奈川歯科大学歯学部臨床科学系 歯科保存学講座 歯内療法学分野教授 石井信之先生 (14 回生)



## 神奈川歯科大学同窓会広島県支部 令和5年度 学術講演会・懇親会

玉山廣忠 (18回生・広島県支部)

2023年11月25日に『ANA クランプラザホテル広島』において、令和5年度神奈川歯科大学同窓会・広島県支部の学術講演会・懇親会が開催された。午後5時から玉山廣忠副会長の司会のもと、我が母校である神奈川歯科大学附属病院病院長・有床義歯補綴学分野教授の井野 智先生をお招きして「明日から使える咬合調整の実際－顎関節と歯周組織を守れ－」と題して講演していただいた。日々の診療において、咬合調整と言えば、削合をイメージするが、削合ではなく、添加して咬合の機能を改善する考え方のもと、臨床のケースを多数説明していただいた。講演会後半には最近の大学の様子なども紹介していただき、なかなか横須賀に

行けない我々にとって、懐かしい思いが甦ってきた。

最後に記念撮影を行い学術講演会は終了した。

同会場にて懇親会が開催され、山口 真一郎専務理事の司会のもと、西谷 満会長から「新執行部においての、初めての学術講演会が開催できた」という旨の挨拶があり、続いて藤井顧問から挨拶をいただいた。山村 剛顧問から乾杯の挨拶をいただき、同窓会会員は井野 智教授を囲み、楽しいひとときを過ごした。午後8時30分に横村康彦理事指揮の下、全員で校歌を斉唱し、歌野原 之副会長の閉会の挨拶にて本日の全日程を盛会のうちに終了した。



同窓便り



神奈川歯科大学同窓会熊本県支部  
発足50周年お祝い会

河原正明 (15 回生・熊本県支部理事)

2024年5月25日(土) 熊本市のアーキホテルにて熊本県支部発足50周年お祝い会が開催されました。本会は昭和47年に初代支部長 田島宗穂先生(2回生)を中心に立ち上げられ、歴代支部長の元、数々の行事を行いながら52年を迎えます。本来2年前に創立50周年事業を行う予定でしたがコロナ禍で開催できず今年、開催の運びとなりました。

来賓として熊本県歯科医師会 伊藤明彦会長、熊本県各歯科大学支部長、同窓会本部より大館 満会長、平良恵信副会長及び九州各県支部長にお越しいただきました。

お祝い会は写真撮影の後、谷川 ひろみ先生(4回生)の開会で始まり15名の物故会員に黙祷を捧げました。まず片山公則支部長(9回生)の挨拶があり、歴代支部長はじめ多くの先輩のご尽力により52年の歴史を刻み現在78名の会員が県の歯科医師会及び各郡市歯科医師会で要職につき活躍していることを紹介されました。ただ今後、新入会員の減少、会員の高齢化等により活動縮小も懸念されますが可能な範囲で支部活動を継続していきたいと挨拶されました。次に大館 満同窓会会長、伊藤明彦熊本県歯科医師会会長に祝辞を

いただきました。その後、同窓会発足に力を注がれ長年支部長として活躍された宇治道孝先生(3回生)に感謝状を贈呈し、宇治先生からもこれ迄の同窓会の歴史を語っていただき、改めて先輩方の偉大さご苦勞を感じることができました。

平良恵信同窓会副会長の乾杯の音頭で宴会が始まりました。各テーブルで美味しいお酒と食事に舌鼓をうち話も盛り上がってきた所で50周年のあゆみのスライドショーが上映されました。熊本支部の変遷だけではなく各先生の若い時から現在までの変遷がわかり大変懐かしく見入っていました。

宴もたけなわでしたが沖縄支部の長堂芳子先生(17回生)から次回九地連の案内があり有働秀一先生(26回生)の音頭でエールと校歌斉唱を行い牧 正仁先生(7回生)の謝辞・閉会の挨拶で締めくくっていただきました。

今回の50周年お祝い会の準備は三隅晴具(5回生)統括責任者、牧 正仁実行委員長 片山支部長のもと約1年かけて準備してきましたが、役員の方の協力で滞りなくおこなわれ盛況に終了しました。





## 同窓便り



よ坊さん

## 神奈川歯科大学同窓会大分県支部 令和5年度 学術講演会

三浦洋史 (16回生・大分県支部支部長)

2024年2月17日(土)、別府市内のホテルサンバリーアネックスにて16時より学術講演会、18時より懇親会を開催し13名が出席しました。

一昨年、6月18日(土)の総会后、当支部の15回生小原正嗣先生と17回生荒金伸次先生にお願いし、保険診療の算定、請求に関する研修会を開催しましたが、コロナの影響のため懇親会は行いませんでした。

昨年、コロナが5類に移行されたのを機に、39回生の神奈川歯科大学歯学部臨床科学系歯科保存学講座歯周病分野講師、杉原 俊太郎先生をお招きし、「歯周組織再生療法の基本と臨床のポイント、リグロスを中心に」の演題でご講演をいただきました。

3年前、先生が助教に就任された際に企画したものがコロナ蔓延のため延期されこの度ようやく開催されたものです。従来、大分市内で行っていたものを4年ぶりの本格的な学術講演会ということで、会場を別府市内のホテルに変更、宿泊も用意しました。

先生は当支部会員で4年前にご逝去された6回生杉原英二先生のご長男で、“帰省講演”の形になりました。出席者の中には、先生を子供の頃から知っている方も

いて、ある意味先生にとってやりにくいものだったかも知れませんが懇親会・二次会ともにより和やかなものになりました。

講演では症例に動画を交え診断・治療計画の立案からSPTに至るまで詳細に解説されました。全国的にも歯周外科のレセプト請求件数は少なくリグロスを使用した場合、施術から部分的再評価までに3ヶ月を要することから更に、少数になると思います。因みに先生は6ヶ月後に部分的再評価を行っているとのこと。患者さんからの信頼を得ることがいかに重要か改めて感じさせられる内容でした。

別府駅前には新築のホテルが数件建ち、今回利用したホテルも満室と、コロナ以前に戻った感があります。がしかし、タクシードライバーの離職者が多く、遅い時間のタクシー確保に不安があるため、二次会も21時半頃には散会しました。

今年度の学術講演会ではもっと多く講師のお話をお伺いしたいです。できれば、当支部に縁のある方、会員と懇意の方をお招きしたいと思っています。



## 15回生 クラス会」

羽田 久美夫 (15回生・クラス委員)

今回のクラス会は2016（平成28）年に木本茂成教授と吉田和市教授のお祝いを記念して開催して以来の8年ぶりであった。開催日を決めてからの呼び掛けで、日にちを先に決めているので、コロナ後の影響もあって、会場を確保するのが困難であった。昼間の開催となったため、診療時間で間に合わない同窓もいたので、同時に2次会も企画し、2次会からの参加もお願いするという2本立ての変則な開催となった。

それでも、久しぶりとのことで、全国から集まり中華街の萬珍楼で、木本教授の乾杯の音頭で、和気藹々の内に始まった。一段落したあとで、それぞれから近況報告があり既にリタイヤした人、引き際を探る人、

子弟と共に仕事をしている人、現役バリバリの人など、卒業して40年も経つので、バラエティーに富んだ話となった。話題も尽きぬ中、会場の制限時間となって、近くのイタリアンレストランに場所を移した。ここから新たに参加した同窓からの自己紹介があり、再び親睦を深めた。またたくまに再び時間となって、3次会へとなったが、いくら尋ね探しても、混雑する中華街付近では皆が入れるような場所は見つからず、名残惜しいが、しかたなく3次会は分散を余儀なくされた。

次回は今回参加出来なかった同窓も参加しやすいように、2年後にまた開くことを決めた。



## バスケットボール部 OB 会・総会

玉山廣忠 (18回生)

2024年5月18日(土)午後6時30分から「桜木町ワシントンホテル」において標記総会が開催された。この3月にて、本学口腔外科教授を退官された、当OB会・会長の小林 優先生のご慰労及びお祝いを兼ねた会で、関東近辺の先生方はもちろん、北は北海道から、南は九州熊本そして長崎の対馬、四国は高知からと、OBは17名、元マネージャーは14名の参加があり盛会となった。

司会は檀上 修先生がつとめ、小林 優会長の挨拶の後、近況報告、会計報告があり、無事に承認された。檀上 修先生はOB会発足より、名簿作成やいろいろな雑務でお世話になっている。

総会終了後、懇親会となり北海道から出席された4回生・中村順三先生の乾杯の発声により宴が始まり、楽しいひと時を過ごすことができた。

次回は地方での開催になるか、当分本学に行っていない先生方を考慮し、横須賀になるかは未定であるが、又の再会を楽しみにしている。



OB会・会長 小林 優先生



## お知らせ

### 令和6年度 新入生

(77名)

氏名	氏名	氏名
阿部 翔一	仙葉 善博	黄 元俊
阿部 空人	田岡 寛大	藤島 実咲
生田 隼士	高木 大輝	星 拓摩
石川 拓未	高山 航	細野 健太
伊藤 将希	瀧川 紗礼	洪 政佑
岩崎 康介	田口 大和	増田 寛大
王 新鈞	竹 慧樹	増田崇一朗
大利 佳蓮	竹長 隼汰	松倉 基耕
岡山璃里子	田中 毬桜	三浦平太郎
奥井 颯太	崔 爾素	三木 智生
小野瀬 陸	張 志安	宮下 大輔
鉄田 将	張 崇容	望月 麻帆
上島 琉意	CHUNG WOOHYUK	茂呂陽成子
姜 義信	董 祺冉	山崎 芽実
栗原 若菜	徳江 優介	山下 聡太
上里 和史	長瀬 静流	山中 悠司
紺野 慶	野村総二郎	山本 翔聖
蔡 沂霖	裴 子欣	楊 高若瑀
酒井 凜太	芳賀 創太	養田 光星
先田優太郎	朴 燦	柳 宏穎
佐藤 有紗	朴 敏奭	柳 覃
下條 花恋	原口 成実	林 鉞
常 子敏	原田 大雅	林 承學
菅原 里彩	原田 天雅	若林 葵雪
鈴木 千尋	卞 雅鉉	渡邊 敦也
瀬尾 優広	平澤 伸昌	

### 新入会者

福岡健史	(38回生・甲)	神奈川県支部
横村康彦	(37回生・甲)	広島県支部
平良良公	(30回生・甲)	沖縄県支部

### 再入会者

柳壮二郎	(31回生・甲)	北海道支部
羅 添揚	(13回生・甲)	神奈川県支部

### 訃報

#### 『正会員』

高田 晴彦	(神奈川県支部 8回生)	2023.11.24	ご逝去
宇山 孝英	(徳島県支部 6回生)	2023.12.24	ご逝去
大橋三喜男	(栃木県支部 14回生)	2023.12.31	ご逝去
柳沢 三郎	(本部直属会員 1回生)	2024.01.04	ご逝去
米今 豊秀	(神奈川県支部17回生)	2024.01.12	ご逝去
山口 祐史	(千葉県支部 6回生)	2024.01.17	ご逝去
土屋 直行	(大分県支部 5回生)	2024.02.01	ご逝去
本間 秀文	(神奈川県支部 6回生)	2024.02.07	ご逝去
小山 浩介	(神奈川県支部20回生)	2024.02.21	ご逝去
白瀬 学	(滋賀県支部 8回生)	2024.03.13	ご逝去
塩田 博文	(福島県支部 11回生)	2024.04.05	ご逝去
平岡 徳雄	(京都府支部 3回生)	2024.04.08	ご逝去
坪田 敏伸	(兵庫県支部 26回生)	2024.04.13	ご逝去
吉田 耕一	(神奈川県支部12回生)	2024.04.15	ご逝去
四位 育夫	(鹿児島県支部 7回生)	2024.06.29	ご逝去

同窓会と会員の皆様をつなぎ、情報を伝えるものとして  
神奈川歯科大学同窓会会報とホームページがあります。

会報は年に2回、郵便で送っています。一方、ホームページはパソコンやスマホ経由で皆様から見に来てもらわないと見れません。「神奈川歯科大学同窓会」と入力してのぞいてみてください。同窓会の学術講演会(会員は無料)の申し込みはここから出来ます。住所変更の届出用紙もここに置いてあります。同窓会会員だけが入ることが出来る「会員のページ」もあります。(情報処理部)

### 《編集後記》

先日、十数年ぶりに大学の門をくぐりました。私が学生生活を過ごしたキャンパスの面影はなく、ガラス張りのキャンパスセンターや新しい附属病院などが建ち、現代的なキャンパスへと変貌しており驚きました。新設されたキャンパスセンターでは、土曜日の夕刻にもかかわらず多くの学生たちが自習しておりました。将来の優秀な歯科医師として、神奈川歯科大学を巣立ってゆく事を望むばかりでした。(新井宗高広報担当理事)

編集委員: 加来 めぐみ (9回生) 金子宣由 (19回生) 濱野奈穂 (30回生) 市田佳子 (33回生) 角井 早紀 (49回生) /  
広報担当常務理事: 川端啓義 (12回生) / 広報担当理事: 新井宗高 (28回生) / アドバイザー 高橋 朗 (12回生)

### 神奈川歯科大学同窓会会報 140号

発行: 神奈川歯科大学同窓会  
〒238-8580 横須賀市稲岡町82  
TEL: 046-825-0524 FAX: 046-822-3538  
URL: <https://inaoka82.com/> E-mail: [ob-jimu@kdu.ac.jp](mailto:ob-jimu@kdu.ac.jp)



発行人: 大館 満

発行日: 2024年7月18日

印刷: 一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22  
TEL: 03-3952-5651

## 被災された同窓生への災害支援に関する経過報告(令和5年11月～令和6年5月末現在)

第63回代議員会（平成14年7月13日）にて福祉共済の災害等への見舞金が廃止となりました。その後は、災害により被災された会員の先生がいらした場合には支援金を募集し対応しておりました。

災害見舞金は早急な対応が要求されることから、平成29年度に災害見舞金制度を立ち上げて、見舞金の対象となる災害の基準を定め、理事会承認で見舞金の対応をしております。

災害発生日	災害見舞金支払日	支 払 内 容
2023年10月21日 青森津軽地方豪雨	2023年11月21日	青森県支部の1名の会員に災害見舞金 30,000 円をお支払い。 (内訳) ・診療室、スタッフルーム浸水による被害、休診
2024年1月1日 発生 能登半島地震	2024年2月15日	石川県支部の1名の会員に災害見舞金 20,000 円をお支払い。 (内訳) ・診療室の駐車場のアスファルトの破損、自宅外壁の破損 富山県支部の1名の会員に災害見舞金 20,000 円をお支払い。 (内訳) ・3日間停電、水道管破裂、応急修理にて1月5日より診療再開他、 棚の本落下

令和5年度災害見舞金予算額1,000,000円に対し、70,000円を被災された会員にお支払いしております。(令和6年3月末日現在)

災害発生日	災害見舞金支払日	支 払 内 容
2024年1月1日 発生 能登半島地震"	2024年5月21日	石川県支部の1名の会員に災害見舞金 20,000 円をお支払い。 (内訳) ・自宅一部損壊 石川県支部の1名の会員に災害見舞金 20,000 円をお支払い。 (内訳) ・診療室駐車場一部損壊

令和6年度災害見舞金予算額1,000,000円に対し、40,000円を被災された会員にお支払いしております。(令和6年5月末日現在)

貴支部総会等の際に、支部会員の先生方から過去における被災状況の報告をお受けしたなどの話題がございましたら本部同窓会事務局までお知らせくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

### 《 褒章・叙勲・表彰について 》

国（内閣府）・都道府県から褒章・叙勲を受章されたほかに、医療に携わり社会的に貢献した事を認められて（大臣表彰・都道府県・日本歯科医師会）から表彰を受章された先生方を会報（HP）でご紹介させていただきます。  
会報掲載をご希望の先生は、支部名、回生、お名前、受章（表彰）名・受章（表彰）日・写真1枚と簡単なコメント（50字程度）を添えて事務局にお届出ください。

### 《 クラス会助成について・令和6年度 》

- ・10周年単位のクラス会、卒後5周年のクラス会に助成金を支給します。
- ・令和6年度は6回生、16回生、26回生、36回生、46回生と卒後5周年に該当する51回生が対象となります。  
(いずれも前後1年の会期も可)
- ・助成金額は、該当するクラス会1件 10万円で用途は自由です。
- ・助成クラス会の該当要件があります。詳しくは事務局までお問い合わせください。
- ・同窓会に提出する書類とは別に、同窓会会報に掲載する原稿を別途ご提出ください。(集合写真1枚等添付)

回生  
(会員番号)ふりがな  
氏名

支部

旧姓

## &lt;&lt; 勤務先情報 &gt;&gt;

◆ 届出の登録情報に変更 【あり・なし】

◆ 冊子名簿への掲載について(希望する方に○をつけてください)

勤務先名 【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

勤務先所在地 【掲載・非掲載】 〒

電話番号 【掲載・非掲載】

FAX番号 【掲載・非掲載】

携帯番号 【掲載・非掲載】

E-Mail 【掲載・非掲載】

※ アドレスを事務局宛にメール送信してください

## &lt;&lt; 現住所情報 &gt;&gt;

◆ 届出の登録情報に変更 【あり・なし】

◆ 冊子名簿への掲載について(希望する方に○をつけてください)

住所 【掲載・非掲載】 〒

電話番号 【掲載・非掲載】

FAX番号 【掲載・非掲載】

携帯番号 【掲載・非掲載】

E-Mail 【掲載・非掲載】

※ アドレスを事務局宛にメール送信してください

## &lt;&lt; 連絡方法 &gt;&gt;

1. 勤務先

2. 現住所

(送付を希望する方に○をつけてください)

&lt;&lt; 空欄の箇所がある場合、既に登録(届出)してある情報の変更はいたしません &gt;&gt;

会員の個人情報について「プライバシーポリシー」を定め、適切な取り扱い管理を行っています。  
この届出が同窓生名簿原稿となることにご理解をいただき、氏名・回生・支部・役職・勤務先の名称、住所、電話番号は  
掲載にご協力くださいますようお願い申し上げます。

※ 市町村合併に伴う住居表示変更・市内局番の変更に伴う電話番号表示変更につきましてもお知らせください。

※メールでの登録情報変更については

[ob-jimu@kdu.ac.jp](mailto:ob-jimu@kdu.ac.jp)

宛にお問い合わせください

## 【お願い】

2024 年度版名簿発行以降に住所変更等の届出をされていない方は正確な情報を名簿に掲載することができるよう、裏面の『登録情報変更届』用紙をFAX・またはメールにてご連絡ください。

また、一般公開ページの下記のサイドメニューからの届出もできます。

市区町村変遷情報(市町村合併・市制変更等)による住所表示変更、電話番号表示変更についてもお知らせください。



※個人情報の保護のため、会員ご本人からの届出を原則とします。

URL : <https://inaoka82.com/>

E-mail : [ob-jimu@kdu.ac.jp](mailto:ob-jimu@kdu.ac.jp)



神奈川歯科大学同窓会事務局

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町 82

TEL:046-825-0524 FAX:046-822-3538

本学歯学部卒業生の

ご推薦があれば、

どなたでも出願可能です

# 2025年度 卒業生 推薦入試

入学金  
60万円  
免除!

卒業生推薦入試による  
2025年度入学者は  
入学金が全額免除

## 募集人員

20名

## 出願書類

- 入学志願票
- 質問票 (本学 HP よりダウンロード)
- 出身高校調査書 (調査書または卒業証明書および成績証明書)
- 卒業生推薦書 (本学 HP よりダウンロード)

## 試験日

- 1期：2024年11月17日(日)
- 2期：2024年12月15日(日)
- 3期：2025年3月20日(木・祝)

## 試験内容

- 小論文 (400~600字)
- 基礎学力試験 (国語・数学・英語・生物・化学の基礎知識)
- 面接

神奈川歯科大学 歯学部

<お問い合わせ> 教学部入試係

☎ 046-822-9580 (平日 9:00~17:00)

✉ nyushi-shigakubu@kdu.ac.jp

📱 <https://www.kdu.ac.jp/dental/>





おトクな

# 神奈川歯科大学短期大学部 減免制度

※複数の減免制度を併用することはできません



## 指定校推薦 社会人選抜

指定校推薦選抜・社会人選抜で  
合格・入学した方は

入学金**全額**免除

## 卒業生推薦

※本学関連校の  
卒業生から  
推薦を受けた方は

入学金**半額**免除

※関連校・神奈川歯科大学・神奈川歯科大学短期大学部  
日本女子衛生短期大学・湘南短期大学  
神奈川歯科大学附属歯科技工専門学校



## 歯科医院長推薦 (歯科衛生学科のみ)

※歯科医院長から  
推薦を受けた方は

入学金**半額**免除

※歯科医院に指定はありません

## 特待生選抜



特待生選抜で  
特待生として  
合格・入学した方は

初年次学納金**全額**免除

他にも！

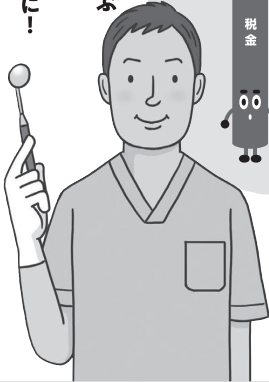


- ・高等教育修学支援新制度の対象校
- ・専門実践教育訓練給付金の指定講座  
(歯科衛生学科・社会人向け)

さまざまな形でサポートしますので、一度ご相談ください！

# 歯科医師・従業員のみなさまへ。あなたにも“プラス”を。

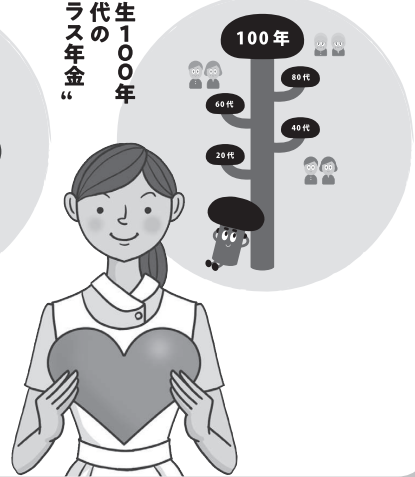
掛金はぜんぶ  
所得控除に  
なるから、  
税金がお得に！



一生涯  
もらえる  
年金を上乗せ  
できます！



人生100年  
時代の  
“プラス年金”



## 歯科医師国民年金基金



60歳以上65歳未満の方や海外居住されている方で、国民年金に任意加入されている方も国民年金基金に加入できます。\*非居住者が支払った掛金は、所得控除対象外です。

資料請求・ご相談・お問い合わせは  
お気軽に今すぐこちらへ！



**0120-155-950**

〒102-0076  
東京都千代田区五番町12-11  
泉館五番町ビル2F  
<https://www.npfunddent.or.jp>



薬用歯みがき類 **医薬部外品**  
ルシェロ歯みがきペースト  
ホワイトプレミアムケア  
【販売名】ルシェロ歯みがきペースト ホワイトP



歯にやさしく白さを維持  
ルシェロ ホワイトシリーズ



フloss入り歯面研磨ペースト  
ジーシー PTCペースト  
ルシェロホワイト

発売元 **株式会社 ゴーシー** / 製造販売元 **日本ゼトック株式会社**  
東京都文京区本郷3丁目2番14号 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

歯面研磨材 ゴーシー PTCペースト ルシェロホワイト  
一般医療機器 13B2X00124000003

カスタマーサービスセンター お客様窓口 ☎ **0120-416480** 受付時間 9:00a.m.~5:00p.m. (土曜日、日曜日、祝日を除く)  
\*アフターサービスについては、最寄りの営業所へお願いします。 <https://www.gc.dental/japan/>

支店 ●東京 (03)3813-5751 ●大阪 (06)4790-7333 営業所 ●北海道 (011)729-2130 ●東北 (022)207-3370 ●名古屋 (052)757-5722 ●九州 (092)441-1286

\*掲載の内容は2024年4月現在のものです。\*会社名、製品名称等は各社の商標または登録商標です。



合格への一歩を踏み出すチャンス!

進級・国試合格!  
東京デンタルスクールが  
全力で応援!

東京デンタルスクール

Tokyo Dental School

平日・土日・祝日  
365日開校

歯学部受験、歯学部の進級・卒業・CBT、現役生・既卒生の歯科医師国家試験対策

マンツーマン個別指導

東京デンタルスクール

検索

3分でわかる!

歯科医師国試対策

好評 無料動画 ▶ 

You Tubeで好評配信中!

<https://www.youtube.com/c/tokyodental>

代表 岡田 優一郎 (歯科医師) ◆日本アンチエイジング歯科学会 理事 ◆International College of Dentists fellow

歯科ナビ  
第5版



好評発売中!

03-6802-5260

東京デンタルスクール 秋葉原校/JR秋葉原駅 徒歩2分 101-0023 東京都千代田区神田松永町7 ヤマリビル7階

# 医科・歯科特化

新規開院 医療法人化 事業承継

税務・会計  
TAX ACCOUNTING

SOLUTION  
SERVICE

社労士業務  
SOCIAL &  
LABOR INSURANCE

医業経営  
コンサルティング  
MEDICAL MANAGEMENT



みなとみらい税理士法人  
高田会計事務所

所長・税理士 高田一毅

〒220-0011 横浜市西区高島2-3-25 みなとみらいTAビル  
TEL:045-285-8880 FAX:045-285-8881  
E-mail: ta@ac-systems.co.jp